

大伴小だより

富田林市立大伴小学校 校長 岩片 啓子
富田林市南大伴町一丁目2番20号

12月号



0721-24-3104

こうもん とうちやく 校門に到着するまで

保護者のみなさま、子どもたちが、家の玄関を出てから校門を通過するまで、どれぐらいの大人に見守られているかご存じでしょうか？ その方々のお名前はご存じでしょうか？



我が子が小学生の頃、子どもが家を出ると同時に私も鍵を閉めて出勤する毎日でした。年に二、三度、家と学校の中間ぐらいで保護者として通学路に立つ当番がありました。その時、見守り隊の方に挨拶をすると、お名前も存じ上げない女性の方が「あ～岩片〇〇ちゃんのお母さんやね～、今日は〇〇ちゃん、ちょっと遅いねえ！」とおっしゃいました。私の娘の名前や、登下校どんな友だちと何時ごろにここを通過するのか、たまに公園で喋って遊んで帰っていることまで知ってくださっていることに、驚きと感謝の気持ちでいっぱいになったことを覚えています。

先日、本校でも登校中に転んで泣いていた一年生の子を、見守り隊の方がおんぶして校門まで連れてきてくださいました。登校中にきょうだいげんかをした子をなだめて、手を引いて連れて来てくださったこともあります。「●年生の●●くんが、途中で動かなくなってるんですけど…」というお電話をいただいたりもします。自分の孫でもない子どもたちのために、毎朝毎夕、見守り、声をかけてくださっていることには本当に感謝しかありません。

ところが、見守り隊さんに聞こえる声で、いさつができない子どもがいたり、「じじい」や「ばばあ」なんて、えらそうに言う子どももいるのが現状です。なんて恥ずかしいことでしょう。「そんなことを言ってはいけません」なんて学校で指導するような次元の話ではありませんよね。保護者の方々も歩いて子どもを送って来られた時など、見守り隊の方に出会われたら、たとえ顔やお名前を知らない方々であっても、子どもたちに「きちんと挨拶をする」見本を見せてください。そうすることで、子どもたちも正しい感謝の伝え方を覚えていくことでしょう。



今月4日(木)の5時間目、四年生が大伴小を代表して感謝の会を開催します。「自分の子どもや孫は遠くに住んでるけどね、この大伴の子どもたちから毎日元気をもらってるんですよ。」と言ってくださる見守り隊の方々が、この先も大伴小の子どもたちを気持ちよく応援しようと思つていただけるような、温かい会にしたいです。